

橋を通じて地域の文化と技術を次世代に伝えたい——
橋をこよなく愛し、布橋活動をする
“徳島の宣橋師”

この人と吉野川

もりやま たくろう
阿南工業高等専門学校 教授 森山 卓郎さん

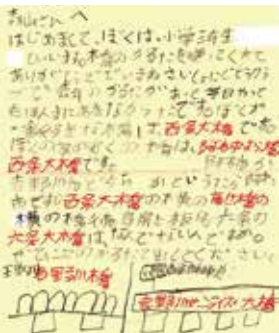


「TBK48総選挙」——昨夏、地元新聞やテレビなどで話題になっていましたね。皆さん、「推し」に投票しましたか？「TBK」は徳島ブリッジかるたの略。この仕掛け人が、「徳島の宣橋師」と、阿南工業高等専門学校創造技術工学科教授の森山卓郎さんです。

森山さんは千葉県出身。幼い頃は鉄道が大好きで、車掌になるのが夢でした。鉄道の写真を撮るうちに、いつしか興味は鉄橋へと。そして、大学生の時に、その後の人生を決定づける出会いがありました。「完成したばかりの瀬戸大橋を見に行つたんです。岡山県の鷺羽山から見た橋の構造美に心を奪われました」。

大学院で橋の耐震化などを研究し、平成12年(2000)に阿南高専に赴任。設計の基礎となる構造力学や橋の耐震化対策などを学生に指導しています。

「徳島県は面積のわりに川が多く、そこに吉野川橋からかざら橋まで、大きさ、素材、構造などバラエティに富んだ橋が架かっている。とても魅力的」と語る森山さん。子ども達にその魅力をPRし、もつと橋に興味を持ってもらおうと令和3年(2021)、小中学生向けに「徳島の橋かるた」を制作しました。県内48橋の写真を印刷した絵札と、紹介文を記した読み札が



橋のかるたのファンから、胸アツなおたよりが届きます。橋への思いが伝わってきますね

「かるたや総選挙で橋に興味を持ったら、実際に見に行つて橋の魅力を感じてほしい」と森山さん。まだまだ布橋活動は続きます。

48組のセットになっています。「全県版」「吉野川版」などこれまでに4シリーズを制作し、累計約2700セットを無料配布。クリアファイルやカレンダーも制作しました。反響は大きく、いずれもあつという間に品切れになったとか。

「TBK48総選挙」は、これまでの活動の一区切りとして企画。かるたに登場した160橋から県民のもつとも好きな橋を決める総選挙です。インターネットなどで投票を行い、10月に結果が発表されました。総得票数426票、うち33票を獲得し1位に輝いたのは、森山さんの「推し」の吉野川橋。納得の結果ですね。



↑「徳島の橋かるた48橋」。吉野川版と、全県版3種の全部で4種類あります。



←「橋のかるた」を使った出前授業。「眉山との組み合わせは～これぞ徳島と言うべき風景の～」 「ハイ！」そう、吉野川橋です

吉野川橋ものがたり 第8回 特別編

徳島県の橋の人気投票「TBK(徳島ブリッジかるた)48」で上位に選ばれた橋をご紹介します。 ※第3位は大鳴門橋



吉野川橋

1位

河口から約4km上流に架かる長さ1,071mの17連の曲弦下路式ワーレントラス橋。三好橋、穴吹橋に続いて吉野川に架けられた長大橋で、いずれも日本を代表する橋梁技術者・増田淳の設計による。昭和3年(1928)完成当時は「東洋一の長大橋」として全国にその名を轟かせた。日本百名橋、とくしま市民遺産、土木学会「選奨土木遺産」に選定。



阿波しらさぎ大橋

2位

平成24年(2012)に完成した徳島市住吉～川内町を結ぶ橋長1,291mの長大橋。環境への影響に配慮し、希少生物が多く生息する干潟に橋脚を設置せず、かつ主塔の高さを低くできる「斜張橋」と「ケーブルトラス」を組み合わせた世界的にも珍しい構造形式を採用。この構造形式は、県の鳥シラスギから「ケーブル・イグレット形式」と名づけられた。



かざら橋

4位

日本三奇橋のひとつ、三好市西祖谷のかざら橋は、祖谷川の水上14mに架かる45mの吊り橋。シラクチカズラで編まれており、3年毎に架け替えられる。春は藤、秋は紅葉と四季折々の景観も美しく、観光名所となっている。国指定重要有形民俗文化財。ちなみに、東祖谷菅生にも2橋あり、西祖谷と区別して「奥祖谷二重かざら橋」と呼ばれている。